
宗像市総合スポーツセンター基本構想・基本計画
参考資料編

参考資料 1 : 既存施設の概要	……………01
参考資料 2 : 既存 3 市営体育館団体別利用状況	……………02
参考資料 3 : 建設予定地	……………04
参考資料 4 : 建物構成比較表	……………06
参考資料 5 : 計画案 A～C 案	……………07

参考資料 1 既存施設の概要

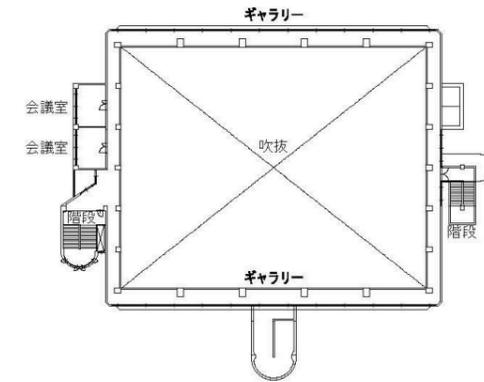
■市民体育館

・建物概要

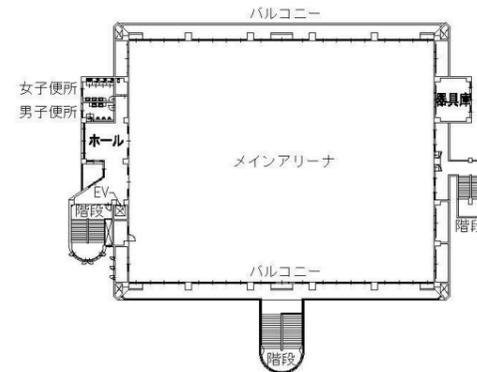
所在地	宗像市稲元5丁目2番1号
竣工年	昭和57年
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階数	地上3階
敷地面積	6,789.16㎡
建築面積	2,029.83㎡
延床面積	3,682.77㎡
最高の高さ	22.75m

・施設概要

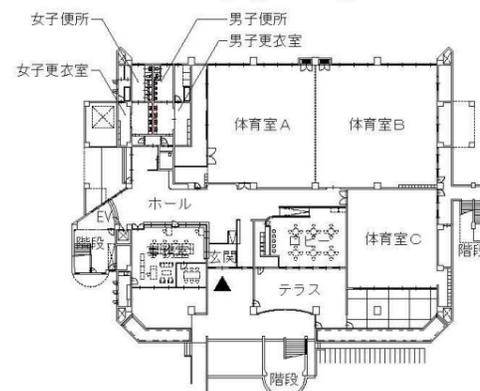
メインアリーナ	バスケットコート2面 1,477.44㎡ (34.2m×43.2m) 観客席200席
体育室A・B	563.89㎡ (17.485m×32.25m)
体育室C	181.49㎡ (14.015m×12.95m)
駐車場	232台 ※平成25年度に新たに整備した 駐車場約60台分を含む



【3階平面図】



【2階平面図】



【1階平面図】

■弓道場

・建物概要

所在地	宗像市吉留3168番地
竣工年	昭和57年
構造	鉄骨造一部木造
階数	地上1階
敷地面積	1,544.44㎡
建築面積	364.18㎡
延床面積	167.69㎡
最高の高さ	5.9m

・施設概要

同時行射数	6人立
-------	-----



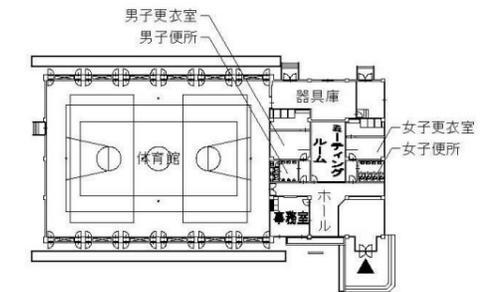
■玄海B&G海洋センター

・建物概要

所在地	宗像市江口965番2号
竣工年	昭和55年
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
階数	地上1階
敷地面積	玄海中学校の敷地に立地
建築面積	1,192.15㎡
延床面積	1,103.11㎡
最高の高さ	10.4m

・施設概要

アリーナ	バスケットコート1面 699.6㎡ (31.8m×22m) 観客席無し
駐車場	80台以上



【1階平面図】

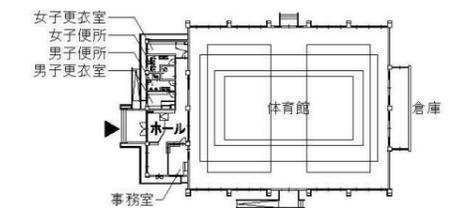
■勤労者体育センター

・建物概要

所在地	宗像市須恵1丁目4番1号
竣工年	昭和55年
構造	鉄筋コンクリート造一部PC造
階数	地上1階
敷地面積	4,441.89㎡
建築面積	868.24㎡
延床面積	792.50㎡
最高の高さ	9.06m

・施設概要

アリーナ	バスケットコート1面 644㎡ (28m×23m) 観客席無し
駐車場	87台



【1階平面図】

参考資料2 既存3市営体育館団体別利用状況

■平成26年4月現在の団体別の平均的な利用状況

○市民体育館（アリーナ）

曜日	時間帯	種目	曜日	時間帯	種目
火	午前	バドミントンA団体	金	午前	バドミントンJ団体
		バドミントンB団体			バドミントンK団体
					体操団体
	午後	ソフトバレーボールA団体		午後	バドミントンL団体
					バレーボール団体
	夜間	ソフトバレーボールB団体		夜間	バドミントンM団体
					新体操団体
水	午前	バドミントンC団体	土	午前	バドミントンF団体
		バドミントンD団体			バドミントンN団体
		バドミントンE団体			
	午後	バドミントンF団体		午後	バドミントンO団体
		ソフトバレーボールC団体			
	夜間	バスケットボール団体		夜間	バドミントンP団体
		インディアカ団体			
		ダンス団体			
新体操団体					
木	午前	バドミントンG団体	日	午前	
		ソフトバレーボールD団体			
		ソフトバレーボールE団体			
	午後	ソフトバレーボールA団体		午後	
		ソフトバレーボールF団体			
	夜間	バドミントンH団体		夜間	バドミントンQ団体
		バドミントンD団体			
		バドミントンI団体			

○市民体育館（体育室A・B・C）

・体育室A〔卓球（団体）、卓球（個人）〕

※主な利用は卓球の個人利用

曜日	時間帯	種目
火	10:00～12:00	卓球A団体
水	10:00～12:00	卓球B団体
木	13:00～15:00	卓球C団体

・体育室B

〔卓球、空手、杖道、居合道、合気道〕

曜日	時間帯	種目
火	10:00～12:00	卓球D団体
	12:00～14:00	卓球E団体
	14:00～16:00	卓球F団体
	17:30～19:30	空手道A団体
水	19:30～21:30	卓球G団体
	10:00～15:00	卓球H団体
	10:00～12:00	卓球B団体
木	18:00～20:00	空手道B団体
	19:30～21:30	合気道A団体
	10:00～12:00	卓球I団体
	12:00～14:00	卓球J団体
	14:00～16:00	卓球F団体
金	17:30～19:30	空手道A団体
	19:30～21:30	居合道A団体
	10:00～12:00	卓球K団体
土	12:00～15:00	卓球I団体
	18:00～20:00	空手道C団体
	19:00～21:00	卓球L団体
日	19:30～21:30	杖道団体
	19:30～21:30	合気道B団体
	9:30～12:30	卓球M団体
	9:30～11:30	居合道B団体
	14:00～16:00	卓球N団体

・体育室C

〔柔道、体操〕

曜日	時間帯	種目
火・土	17:30～19:30	柔道団体
金	9:30～11:30	リズム体操団体

○玄海B&G海洋センター（アリーナ）

曜日	時間帯	種目	曜日	時間帯	種目		
火	午前	ソフトバレーボールA団体	金	午前	ソフトバレーボールF団体		
		ソフトバレーボールB団体			バウンドテニス団体		
		バドミントンA団体					
		卓球A団体					
	午後			午後	卓球E団体		
	夜間	バレーボールA団体		夜間	ファミリーバドミントンB団体		
		バレーボールB団体			バドミントンC団体		
	水	午前		ソフトバレーボールC団体	土	午前	バレーボールC団体
				バドミントンA団体			バスケットボールA団体
バウンドテニス団体			卓球A団体				
午後		卓球B団体	午後	空手道団体			
		卓球C団体					
夜間		ソフトバレーボールD団体	夜間	ソフトバレーボールG団体			
				ソフトバレーボールH団体			
木	午前	バドミントンB団体	日	午前	フットサル団体		
		卓球D団体					
		バドミントンA団体					
		卓球A団体					
		ファミリーバドミントンA団体					
	午後			午後	バスケットボールB団体		
	夜間	ソフトバレーボールE団体		夜間	バレーボールD団体		

○勤労者体育センター（アリーナ）

曜日	時間帯	種目	曜日	時間帯	種目		
火	午前	ソフトバレーボールA団体	金	午前	ソフトバレーボールE団体		
		ソフトバレーボールB団体			バドミントンC団体		
		バドミントンA団体			バドミントンA団体		
	午後	卓球A団体		午後	卓球C団体		
	夜間	バスケットボール団体		夜間	ソフトバレーボールF団体		
		空手A団体			卓球D団体		
					ソフトバレーボールG団体		
	水	午前		バウンドテニスA団体	土	午前	バドミントンG団体
				ソフトバレーボールC団体			
		午後		バドミントンB団体		午後	空手B団体
			卓球E団体				
夜間		バドミントンC団体	夜間	ソフトバレーボールH団体			
		ソフトバレーボールD団体					
		剣道団体		卓球F団体			
木	午前	バドミントンD団体	日	午前	ダンス団体		
		バドミントンE団体			バドミントンH団体		
	午後	卓球B団体		午後	卓球G団体		
		バドミントンF団体			卓球H団体		
	夜間	バウンドテニスB団体		夜間	卓球I団体		
					バウンドテニスB団体		

参考資料3 建設予定地

(1) 建設候補地の比較

総合スポーツセンターを建設するにあたり、次に示す建設予定地に求められる条件を基に、建設候補地の比較検討を総合的に行いました。

【建設予定地に求められる条件】

A 市民の日常的な継続利用が可能な立地

- ① 公共交通アクセス：市民利用者がアクセスしやすく、日常的に利用しやすい立地であること。
- ② 3km圏の人口集積：多くの市民にとって身近な立地であること。
- ③ スポーツ機能集積：他のスポーツ施設・機能との連携および、スポーツ・運動の中核拠点としての機能を見据えた立地であること。
- ④ 多目的な利用：運動・スポーツだけでなく、多目的な利用が可能な立地であること。

B スポーツイベント開催時など、利用者が集中する際にも対応可能な立地

- ⑤ 大型バスの寄付き：大型車両の出入りがスムーズに行える交通インフラの整った立地であること。

C 建設コストの低減が見込める立地

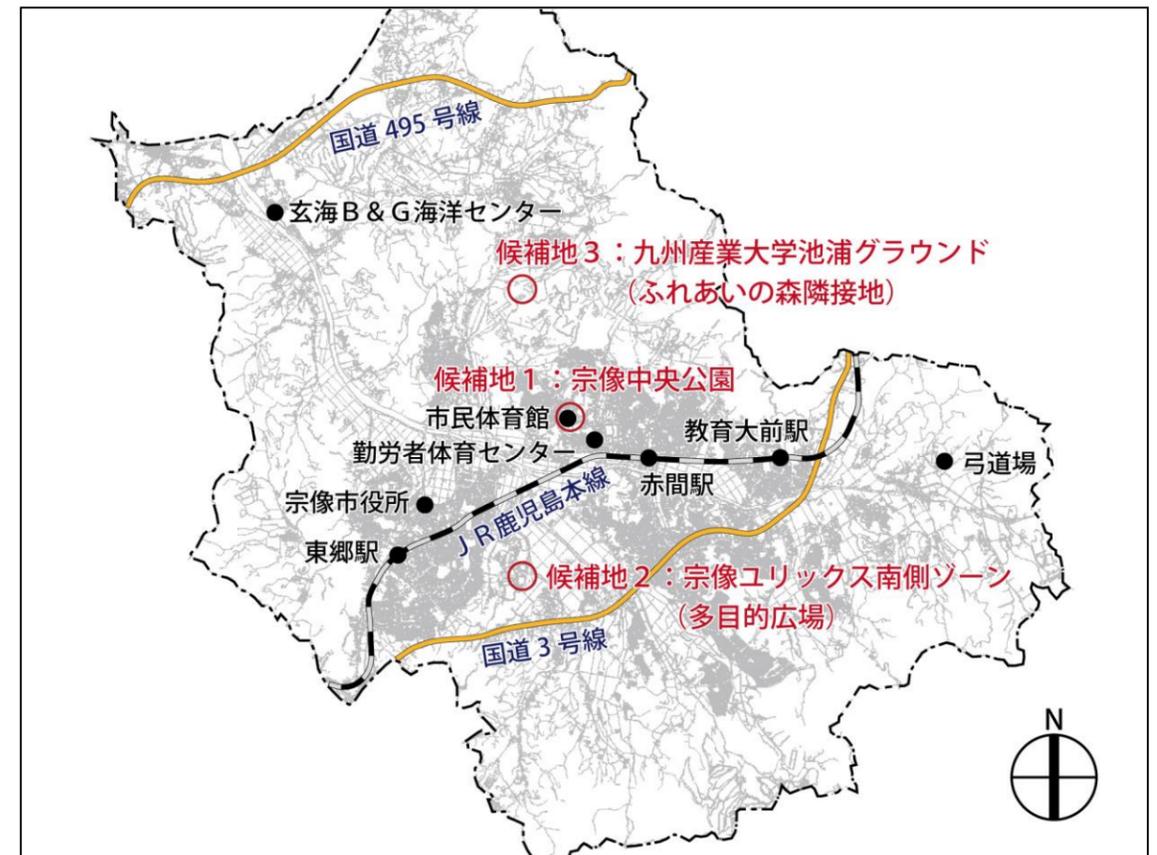
- ⑥ 建設経費：用地の購入や造成にかかるコストの低減が見込める立地であること。

D 市民との合意形成ができる立地

- ⑦ 市民理解：現状の体育館の立地や運動・スポーツ活動の状況から判断して、その立地に対して市民の理解が得やすい立地であること。
- ⑧ 近隣住民への対応：建設時の騒音・振動対策やスポーツイベント開催時の道路混雑対策などが容易な立地であること。

E 災害に対して安全性が高い立地

- ⑨ 防災機能：地震や津波、洪水などのあらゆる災害リスクを想定した上で、災害時の緊急避難場所として機能できる立地であること。



建設候補地の位置図

【建設候補地】

建設予定地に求められる条件を踏まえて、市内で総合スポーツセンターを建設できる広い敷地面積を有する敷地から次の3ヶ所に建設候補地を選定しました。

候補地1：宗像中央公園

候補地2：宗像ユリックス南側ゾーン（多目的広場）

候補地3：九州産業大学池浦グラウンド（ふれあいの森隣接地）

【建設候補地比較表】

比較基準 ○（優れている）、△（平均的・中間的である）、×（劣っている）

	候補地 1	候補地 2	候補地 3
	宗像中央公園	宗像ユリックス 南側ゾーン (多目的広場)	九州産業大学池浦 グラウンド (ふれあいの森隣接地)
①公共交通アクセス	○	△	×
②3km 圏の人口集積	○	○	△
③スポーツ機能集積	△ ※テニスコート、 ゲートボール場	○ ※テニスコート、アクアドーム (ジム、スタジオ、プール)	△ ※多目的グラウンド
④多目的な利用	△	○	△
⑤大型バスの寄付き	×	○	○
⑥建設経費	×	△	×
⑦市民理解	○	△	×
⑧近隣住民への対応	×	○	○
⑨防災機能	△	○	×
メリット	・現市民体育館に隣接しているため、長年、市民体育館を利用してきた市民の理解が得られやすい ・総合スポーツセンターのための新たな用地の購入が必要ない	・国道3号線からのアクセスが容易 ・総合スポーツセンター、宗像ユリックス、アクアドーム等が集積する、文化・スポーツの中核としての整備が可能 ・総合スポーツセンターと宗像ユリックスを併用した複合的な利用が可能	・ふれあいの森総合公園に隣接しているため、総合スポーツセンター、野球場、テニスコート、多目的グラウンドが集積する「総合スポーツ公園」としての整備が可能 ・ふれあいの森総合公園の駐車場との一体的な利用が可能
デメリット	・大型バスが進入しやすい新たなアクセス道路を整備する必要がある ・交通渋滞や騒音等に対する、近隣住民の理解を得る必要がある ・既存野球場の移転先が必要	・建設地となる多目的広場は臨時駐車場として利用しているため、代替の多目的広場が隣接地に必要 ・代替の多目的広場の用地の購入および造成費用がかかる	・学校法人中村産業学園の所有地を全筆購入する必要があるため、費用がかかる ・公共交通のアクセスが悪いため、来場は自動車に限られる
評価	良	優	可

(2) 建設予定地の選定

建設予定地の選定については、前述の「建設予定地に求められる条件」である、

- A 市民の日常的な継続利用が可能な立地
- B スポーツイベント開催時など、利用者が集中する際にも対応可能な立地
- C スポーツ機能の集積や多目的な利用が可能な立地
- D 建設コストの低減が見込める立地
- E 市民との合意形成ができる立地
- F 災害に対して安全性が高い立地

の観点から比較検討した結果、

「候補地2：宗像ユリックス南側ゾーン（多目的広場）」が総合スポーツセンターの建設予定地として最適地であると判断しました。

【建設予定地に求められる条件に対する評価】

A 市民の日常的な継続利用が可能な立地
・JR東郷駅から約2.0km、宗像市役所から約1.8kmの位置にあり、路線バスのバス停も近くにあり、比較的多くの市民が利用しやすい立地であると評価できる
B スポーツイベント開催時など、利用者が集中する際にも対応可能な立地
・国道3号線から近くアクセスしやすい敷地であるため、広域からの利用もしやすい立地であると評価できる ・前面道路が比較的広く、大型バスがアクセスしやすい敷地であると評価できる
C スポーツ機能の集積や多目的な利用が可能な立地
・周囲に宗像ユリックスやアクアドームなどの施設が集積しており、それらの施設と合わせた、複合的な利用や、文化・スポーツの中核としての整備が可能であると評価できる
D 建設コストの低減が見込める立地
・新たな多目的広場（臨時駐車場）の整備が必要ではあるが、総合スポーツセンター建設工事での建設発生土を新たな多目的広場の造成に活用できるため、一定の建設コストの低減が見込めると評価できる
E 市民との合意形成ができる立地
・現市民体育館から離れた位置であるため、利用者等市民との綿密な合意形成が必要であるが、建設予定地周辺には民家が少なく、総合スポーツセンター建設時の騒音や振動、スポーツイベント時の交通渋滞などが近隣住民に与える影響が少ない敷地であると評価できる
F 災害に対して安全性が高い立地
・宗像防災マップにおける内水浸水想定範囲外であり、津波の恐れもない災害に対して安全性が高い立地であると評価できる ・指定避難所となっている、宗像ユリックスおよびメイトム宗像と連携した災害対策および避難者支援が可能であると評価できる

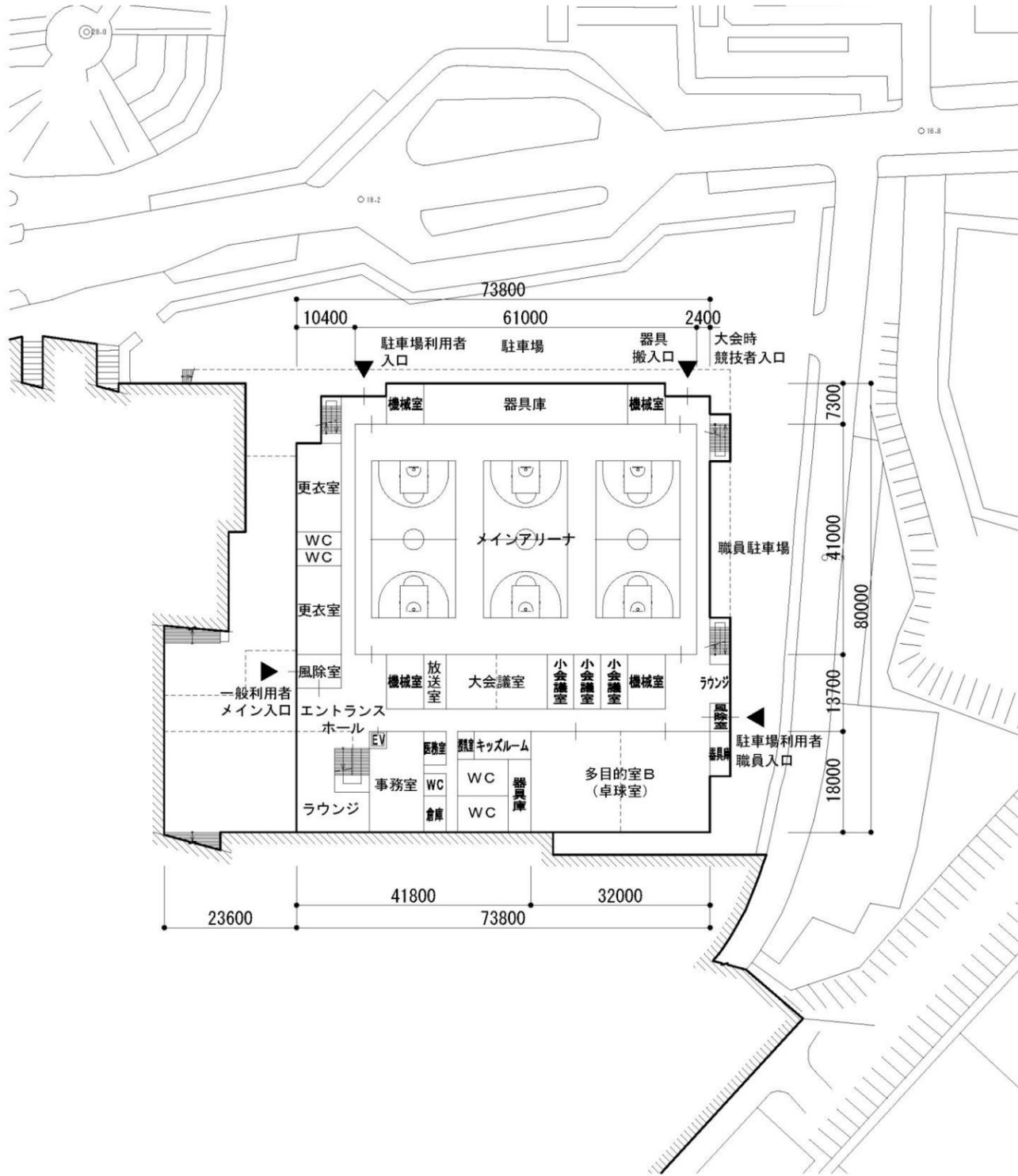
参考資料4 建物構成比較表

本資料はあくまで、建物規模を検討する上で作成した資料で、施設の平面計画を既定するものではありません。

	A案	B案	C案
案の特徴	メインアリーナとサブアリーナを別フロアに配置して、多目的室（武道場）と弓道場をまとめた武道エリアを設けた案	メインアリーナとサブアリーナを同一フロアに配置して、多目的室（武道場・卓球等）、弓道場をまとめた多目的エリアを設けた案	メインアリーナとサブアリーナを同一フロアにし、弓道場を独立して配置した案
ゾーニング図	<p>【1階ゾーニング図】 【2階ゾーニング図】</p>	<p>【1階ゾーニング図】 【2階ゾーニング図】</p>	<p>【1階ゾーニング図】 【2階ゾーニング図】 【3階ゾーニング図】</p>
断面イメージ図			
メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○日常的に利用頻度が高い多目的室（卓球室）を1階に配置しており、他のスペースとの動線の交錯が少ない位置にあるため、日常的な利用の際にスムーズな利用が可能。 ○多目的室（武道場）と弓道場を1ヶ所にまとめた武道エリアを形成することで、多目的室（武道場）を弓道の選手の待機スペースに利用するなどの連携した利用が可能。 ○各スペースをそれぞれ別の利用者が利用しても、適度に動線が分散されるので、動線が混雑することが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メインアリーナを本競技会場、サブアリーナをアップ会場とした、大規模な大会の開催が可能。 ○多目的室（卓球等）と多目的室（武道場）、弓道場を1ヶ所にまとめた多目的エリアを形成することで、それぞれの部屋を連携して利用した大会やイベント等を開催することができる。 ○他案と比べて、メインアリーナ以外の部分の高さを低く抑えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模大会の開催が可能。メインアリーナを本競技会場、サブアリーナをアップ会場、多目的室（卓球等）を、選手共用の休憩室、控室、更衣室等に利用でき、ゆとりのある大会運営や様々な大会形式に対応が可能。 ○サブアリーナと多目的室（卓球等）を連携利用した小規模な大会の開催が可能。 ○弓道場を3階に独立して配置しているため、弓道に適した静かな競技環境が確保できる。 ○他の案に比べて、建築面積が小さい（建物周辺にゆとりがある）ので、多くの駐車場の確保や、余裕のある外構計画が可能。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ○メインアリーナを本競技会場、サブアリーナをアップ会場とした運用をした際、選手と観覧者の動線が交錯するので、大規模な大会を開催しづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他案と比べて、建築面積が大きい（建物周辺にゆとりがない）ので、建物周辺の駐車場の確保や余裕のある外構計画が難しい。 ○弓道場の矢を射る向きと方位の関係があまりよくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○メインアリーナ、サブアリーナ、多目的室（卓球等）をそれぞれ別の利用者が利用する際、エントランスホール周りの動線が混雑しやすい。 ○建物構成が3層になるため、廊下や階段などの共用部分の面積が大きくなる。 ○弓道場の選手の待機スペースやフリーなスペースが狭い。

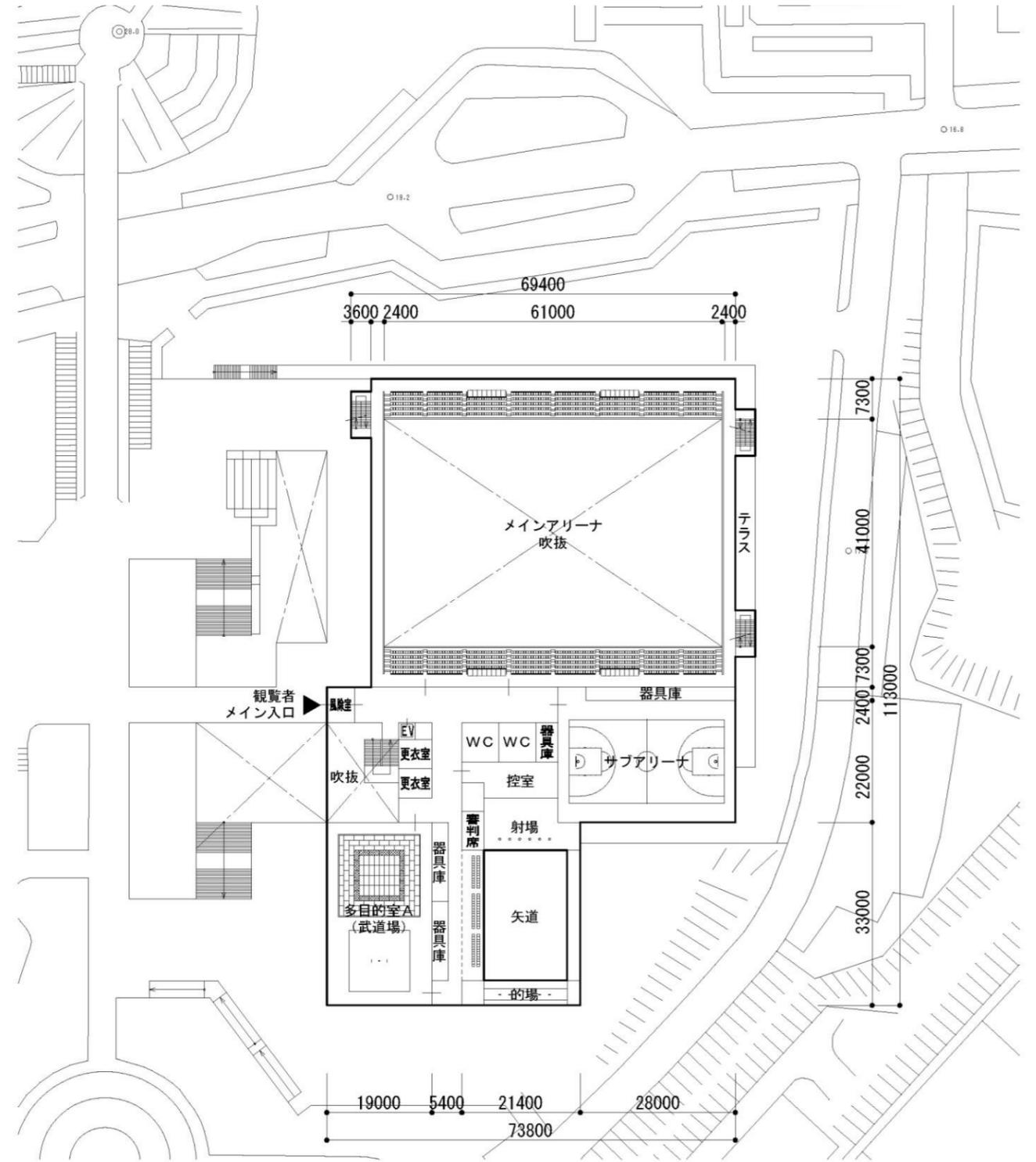
参考資料5 計画案 A案

本資料はあくまで、建物規模を検討する上で作成した資料で、施設の平面計画を既定するものではありません。



1 階 平面 図

床面積：5,943.95㎡
延べ面積：9,983.40㎡

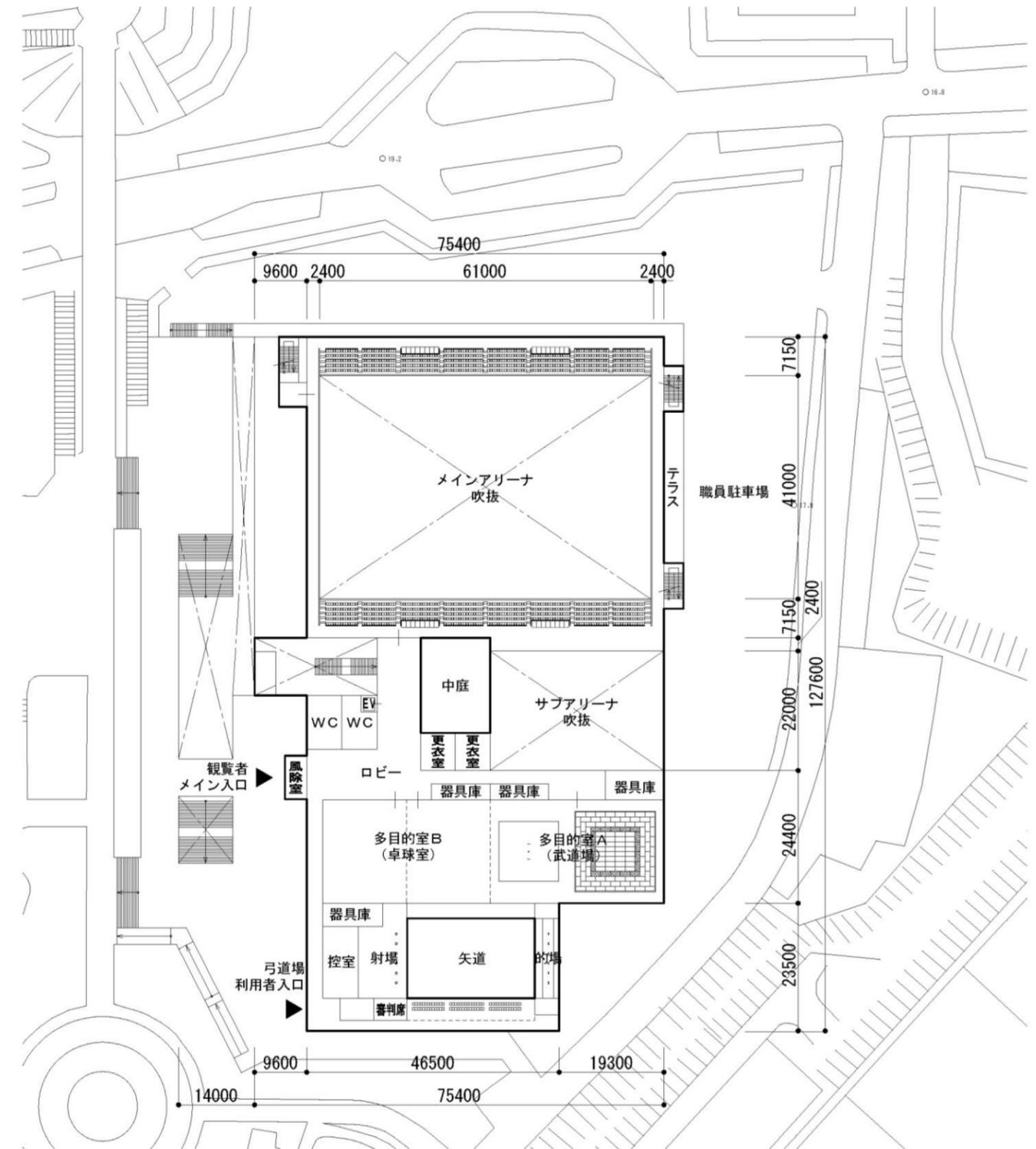
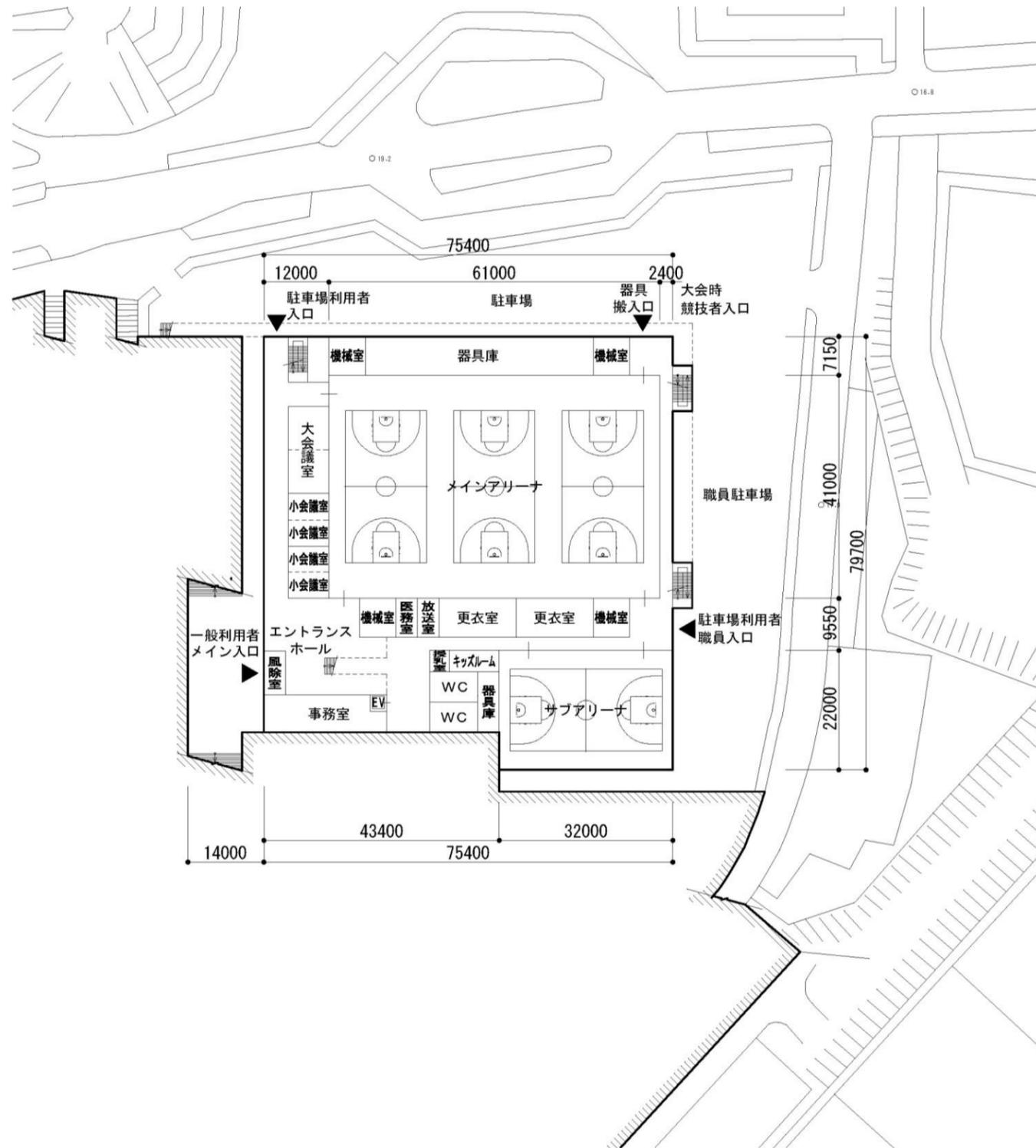


2 階 平面 図

床面積：4,039.45㎡

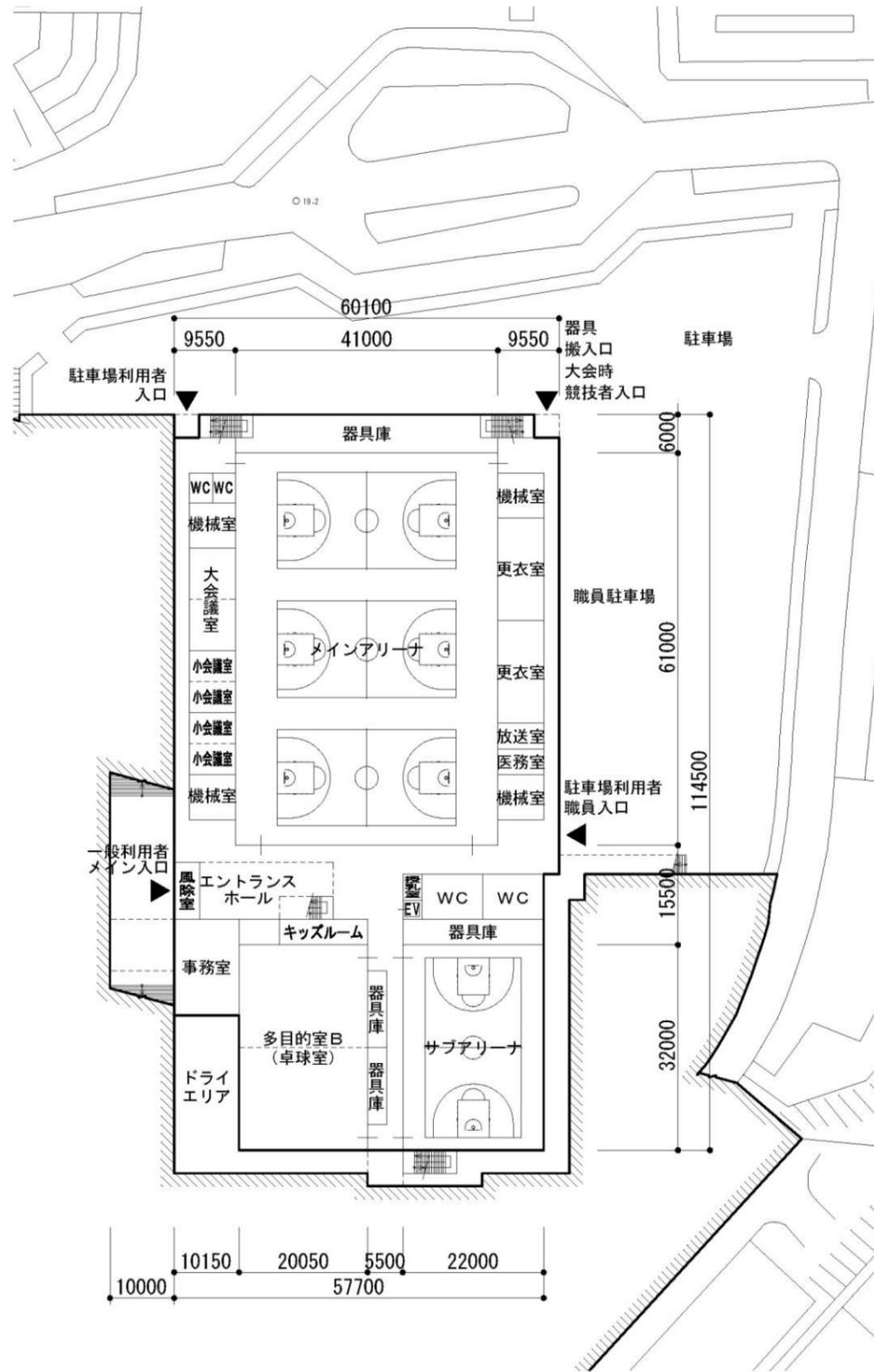
参考資料5 計画案 B案

本資料はあくまで、建物規模を検討する上で作成した資料で、施設の平面計画を既定するものではありません。



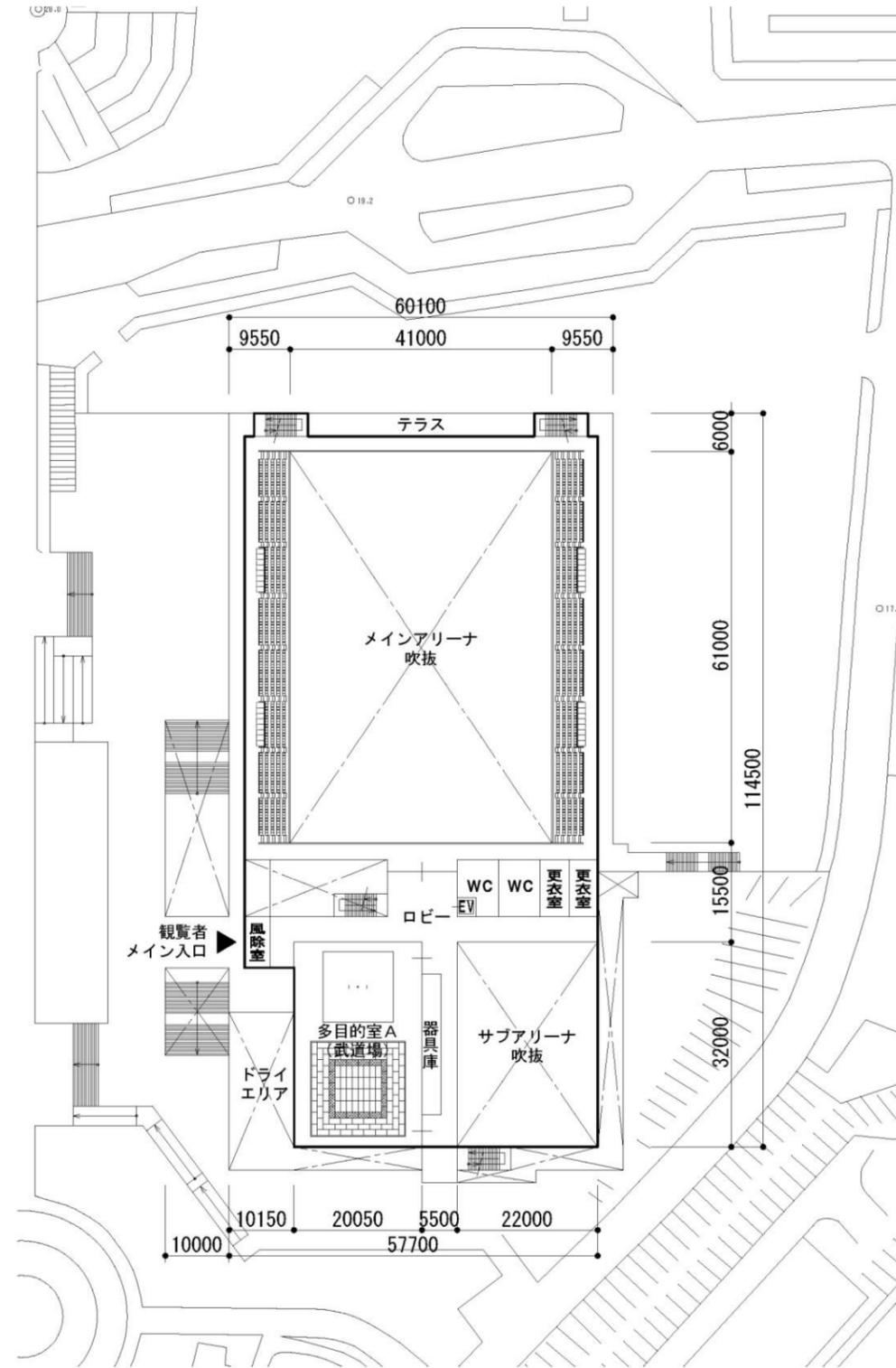
参考資料5 計画案 C案

本資料はあくまで、建物規模を検討する上で作成した資料で、施設の平面計画を既定するものではありません。



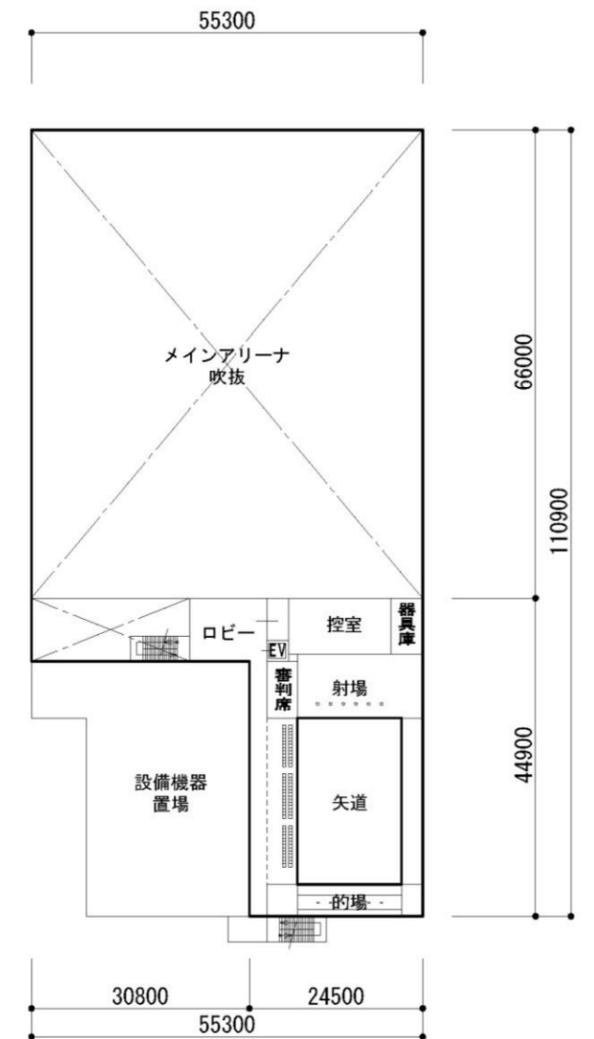
1 階平面図

床面積：6,537.02㎡
延べ面積：9,999.01㎡



2 階平面図

床面積：2,602.17㎡



3 階平面図

床面積：859.82㎡